

1 国語に関する調査

【特長】

- ・話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することや、文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することが、よくできている。
- ・読み手の立場に立って叙述の仕方などを確かめて文章を整えて書くことや、自分の考えが伝わる文章になるように根拠を明確にして書くことについて、できている。

【課題】

- ・文脈に即して漢字を正しく書くことについては、課題が見られる。作文などの場面で文脈に即して正しく漢字を書くことを意識して取り組む必要がある。
- ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えて読むことに課題が見られる。作者の主張に対して、作者の書き方（構成や展開など）がどのように工夫されているか考えて読む視点を持つ必要がある。

2 数学に関する調査

【特長】

- ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかを問う問題について多くの生徒ができている。
- ・四分位範囲の意味を理解しているかどうかを問う問題について多くの生徒ができている。データの分布に着目し、その傾向を比較して読み取る活動を行った成果と考えられる。

【課題】

- ・条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができると問う問題について課題が見られる。
- ・ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかを問う問題について課題が見られる。図形の性質を考察する場面では、観察や操作、実験などの活動を通して、総合的・発展的に考察できるように指導を工夫したい。

3 英語に関する調査

【特長】

- ・「聞くこと」について、情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる問題の正答率が高い。
- ・情報を正確に読み取ることができるかどうかをみる問題についてできている生徒の割合が高い。

【課題】

- ・日常的な話題について事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことについて正答率が低く、問題を読み取る力を身に付けさせる必要がある。
- ・説明を聞いて、考えてその理由を話すことに課題が見られる。今後、聞いたり読んだりしたことを基に生徒が自分の考えや気持ちを述べる機会を設定することが大切である。

4 生徒質問紙の結果より

【特長】

- PC・タブレットなどのICT機器を積極的に授業で使用していることから、「PC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つ」と多くの生徒が回答している。
- 「自分にはよいところがある」「先生は自分のよいところを認めてくれている」と多くの生徒が回答している。今後も生徒のよいところを認めほめていくことを大切にしたい。

【課題】

- 「地域や社会をよくするために何かをしてみたい」と比較的多くの生徒が回答している一方で、住んでいる地域の行事に参加する生徒の割合が低い。職場体験や職業講話などを実施し、地域との結びつきを深めていくことが大切であると考えます。
- 「本や新聞を全く読まない」と回答した生徒の割合が高い。学校図書館を活用して読書の時間を増やす必要がある。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 学校教育目標を実現するために、生徒を主体とした授業づくりに取り組んでいる。ICT機器を活用するなど、互いに高め合える場面を増やし、習得した知識や技能を深い学びにつなげていく。
- 生徒が見通しを持って学習に取り組めるように各時間の学習目標を示すとともに、確かな学力の定着のために授業の最後に振り返り活動を行う。また、家庭学習の充実につなげられるように支援する。
- 引き続き安全で安心して生活でき、自己肯定感が高まるような学校生活を目指すとともに、道徳教育の充実を図っていく。
- 読書活動の推進にむけて、購入希望図書アンケートを実施したり、図書だよりを通して新着図書を紹介したりするなど読書に親しむ機会を増やしていく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 子どもたちが地域の一員であることを継続して意識できるようにお子さんと共に地域の行事に参加するなど、ご協力をお願いいたします。
- インターネットやスマートフォンの扱いに関する家庭内のルールを確立し、今後も家庭に本を整備するなどICT機器や本などで活字に親しむ機会が増えるようにご協力をお願いいたします。
- ニュースを一緒に見たり、時事問題や社会の出来事をご家庭でも話したりするなど、地域や社会への関心を高める機会が増えるようにご協力をお願いいたします。